

2021年1月吉日

健保だより 55

新電元工業健康保険組合
理事長 白羽 真

新年あけましておめでとうございます。

被保険者並びにご家族の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症によって先行きが見通せないなか、心身ともに大変なご苦勞をされておられることと存じます。

こうした状況下におきましても、当健保組合の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国内外で感染が拡大している新型コロナウイルスによって、2020年は生活環境の変化を求められる一年となりました。日常生活に新しい生活様式を取り入れるなどの社会変化に合わせ「骨太方針2020」においては医療・介護分野でのオンライン化の推進やデータヘルス計画と重症化予防の推進を行う方針が示されました。

日々変わる情勢に、『健康に生活する』ことの大切さを実感されている方は多いと存じます。

健康で安心できる暮らしを保障する国民皆保険制度は、わずかな負担で必要な医療が受けられる重要な制度です。しかし、この制度の支え手の中核を担う健保組合の財政状況は、加速する高齢化に伴う医療費の増加によって切迫しており、制度そのものの継続が危ぶまれています。

こうした状況を受け政府は、全世代型社会保障検討会議にて「一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担を2割へ引き上げる」など、現役世代の負担軽減となる内容を示しました。

一方で2021年は、感染拡大による経済の混乱から、税収が大きく落ち込むと共に保険料の減収が避けられない状況です。

健保組合の全国的な連合組織である健康保険組合連合会では、真に現役世代の負担軽減につながる制度設計と、財政が逼迫した健保組合の財政支援を求めています。

当健保組合では社会の変化に対応しつつ、コラボヘルスの推進と重症化予防のための保険事業を進めて参ります。皆様におかれましては、引続き体調に十分ご留意され、健康の維持・増進に努めていただくと共に、ジェネリック医薬品のご利用など医療費の節減にご協力をお願い致します。

皆様のもとに、一日も早く平穏な日々が戻ります様心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上